

ケニア訪日研修でのホームビジット

本年4月15日から25日までの約2週間、ケニアの方々が来日して研修を受けました。

この研修は、ケニアで更生保護ボランティアと協力した社会内処遇の仕組みを作ることを目指し、JICA が実施するプロジェクトの一環として行われたもので、ケニア内務省保護観察局職員10名が来日しました。アジ研は、技術“支援”機関としてこの研修の企画・運営を担当されました。

今回の研修の大きなテーマは、日本の更生保護の中で重要な役割を担う「保護司」について学ぶことでした。このことから、4月21日に実際に保護司のご自宅を訪問する「ホームビジット」が計画され、保護司アジ研協力会に対し受入れの要請がありました。

今回のホームビジットは、JICA 東京(東京都渋谷区)で行われていることから、近隣の23区内の方との要望があり、3名の会員の方に受入れをお願いしました。ご協力頂きありがとうございました。

ホームビジットの様子は以下の通りです。



なお、今回のケニア訪日研修の詳細については、法務省だより「あかれんが」Vol.89 に、「記者が行く！～ケニア訪日研修で日本の保護司制度を学ぶ～」として掲載されています。この URL 及び QR コードを以下に記載しましたので、ご確認ください。

URL: <https://www.moj.go.jp/KANBOU/KOHOSHI/no89/5.html#report05>

QR コード:



第1 保護司国際研修にオブザーバー参加しました

本年8月27日から9月18日までアジ研で、「犯罪者処遇の理論と効果的な実践」をテーマとして開催された第188回国際研修の期間中の9月4日・5日に、保護司国際研修が行われました。

この保護司国際研修の目的は、日本の保護司に諸外国における犯罪者処遇の状況などについて知っていただくとともに、海外から参加している研修参加者には、保護司との対話等を通じて、日本の保護司制度や保護司の活動等について理解を深めていただくことを目的としており、昭和60年に本研修を開始して以降、オブザーバー参加も含めこれまで700人以上の保護司が参加しています。保護司アジ研協力会は、平成15年に保護司国際研修を受講された保護司の有志の方により設立された組織です。

この研修は、アジ研で毎年行われる国際研修の期間中に、アジ研に宿泊して2日間行われるもので、毎回日本全国各地の保護観察所から推薦された保護司が数名程度受講しています。

今回は、釧路、東京、長野、徳島及び佐賀の各保護観察所管内の保護司の他、オブザーバー参加として保護司アジ研協力会から2名の会員及びBBSの会員が受講されました。

保護司アジ研協力会からのオブザーバー参加者は、千代田区保護司会の湯本友美会員、及び墨田区保護司会の遅澤睦美会員です。受講報告については、当会の広報誌でお知らせを予定しています。



湯本友美会員



第188回国際研修生と共に受講修了証を持って



遅澤睦美会員

第2 国際研修生のホームビジットに協力

第1で記載した第188回国際研修の研修生について対して、9月10日水曜日の午後に行われたホームビジット受入に協力会会員4名の会員が協力していただきました。

第188回国際研修には日本人4名を含む18名が受講しました。国外の受講生の国籍は、カンボジア、フィジー、ケニア、モルディブ、ナイジェリア、北マケドニア、南スーダン、タイ、

保護司アジ研協力会 News Letter

東ティモール、トンガ、セントルシア(2名)、インドネシア、パプアニューギニアの方々でした。

以上の受講生が、以下の会員宅を訪れ保護司との交流を深めることができました。

アジ研の阿部教官からも、「研修参加者からは、研修プログラムの中で特に印象深かった経験であったと、感謝の言葉が多数寄せられました。」とのメールを頂きました。

今回のホームビジット受入れには、4名の会員の皆様にご協力頂きました。

ご協力ありがとうございました。

以下が、各会員のホームビジットの様子です。

